

那須の歴史
再発見!

那須町と 近現代の人々

vol.31



箭内源太郎 (1858-1941)

7月号は、那須温泉の発展に寄与した小松屋旅館の箭内源太郎を紹介します。

箭内源太郎は、安政5年に箭内源右衛門の子として誕生しました。箭内家は代々、那須湯本で小松屋を営んでおり、源太郎も明治から昭和にかけて旅館を経営しました。なお、源太郎の息子・箭内源典は、源太郎が57歳の時に誕生した子供で、日本ビューホテルの創業者として有名です。

源太郎は、小松屋を経営する中で、那須温泉街への観光客誘致を積極的に行いました。明治29年に『いてゆの栞 一名那須各湯案内』という現在の『那須温泉勝景』という現在の観光マップ、旅行案内書を刊行し、他にも絵葉書などを作成することで、那須温泉への

観光客誘致を図りました。また、未成線で終わるも黒田原、新那須間に敷設が予定されていた那須電気鉄道への出資や小松屋自動車の設立による乗合自動車の運行など、那須温泉に来る観光客の交通事情改善にも力をいれました。

また源太郎は、那須湯本の名士として旅館業以外にも、さまざまな仕事を兼務しました。明治11年には、湯本七等郵便取扱所(現那須温泉郵便局)の初代所長として50年以上那須温泉街の郵便事業に携わり、昭和11年からは息子・源典が局長を引き継いでいます。明治40年からは1期、栃木県会議員を務め、現在の那須街道の県道化を成しとげました。

実業家・政治家として地域に携わるだけでなく、源太郎は地域の災害記憶の継承にも励みました。安政5年に発生し、那須温泉街を壊滅させた山津波を後世に伝えようと、罹災50年後の明治40年に「追悼之碑」を有志と共に建立し、追悼祭を実施しました。その85年後の平成6年には「追悼之碑」が現代語訳された石碑

が新たに設置されるなど、湯本の災害を未来に伝えようとした源太郎の想いが今なお結実しています。

近代の那須湯本の発展に貢献した箭内源太郎。彼ならどのようなこれから那須町の未来を描くのでしょうか。

▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007



小松屋旅館新館

かつこう

祖母は、畑にたくさん種類の野菜を育てていました。遊び疲れたのが渴くと、すぐそばにある祖母の畑へ行き、真っ赤に熟したトマトをひとついっただいていました。サツと水洗いし、ガブツとかぶりつくと、口いっぱいトマトの香りと水分が広がります。ほんの少し感じる青臭さはトマトのうまみを一層引き出していて、大好

きな味でした。今でもこの時のおいしさにかなうものはないと思うほどです。▼夏は食欲が落ちて野菜不足になりがちです。また、汗をかくことが多く、水分と共に体調管理に欠かせないミネラルが失われてしまいます。トマトやきゅうり、とうもろこしやなすなどの夏野菜は、水分が多く、カリウム、カルシウム、鉄、亜鉛などのミネラルも含んでいます。また、夏場に気になる紫外線から身を守るために役立つ、抗酸化作用のあるβ-

カロテンやビタミンC、ビタミンE、そして食物繊維など夏を元気に過ごすための栄養素が豊富に含まれています。さらに、旬の時期はこれらの野菜の栄養価がさらに高くなる期間でもあります。▼これから夏本番を迎えます。この暑さをどう乗り切るか。夏の太陽の光をたっぷり浴びて、色鮮やかに育てた夏野菜は、体調管理にとても役に立ちます。暑い夏を乗り切るために、おいしい夏野菜を積極的に食べてみてはいかがでしょうか。

こんにちは

赤ちゃん



令和5年4月生まれ

ひらやま こなた
平山 琥陽くん

こなたくんは...

お姉ちゃんお兄ちゃん大好き♡

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは企画政策課広報広聴係(☎72-6935)まで。

町の世帯と人口

(6月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

・世帯数	10,889 世帯 (+115)	出生	2 人 (- 2)
・人口	23,858 人 (- 25)	死亡	41 人 (- 8)
	男 11,899 人 (- 16)	転入	84 人 (- 24)
	女 11,959 人 (- 9)	転出	70 人 (- 21)
		その他	増減なし

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます



マチイロ

